

- 部活動の地域展開について
- 今後の観光戦略について



市政会 石垣智史 議員

議 部活動の地域展開を見据え、指導者不足や地域格差、相談体制、保護者の送迎・費用負担、学校と地域の連携など、持続可能な運営に向けた課題と今後の方針を伺う。

理 指導者の確保については、経験者はもとより、社会人や大学生、退職者など幅広い人材に参画いただけるよう、認定地域クラブと連携して担い手育成に取り組む。

相談体制については、相談窓口や責任者を明確にし、必要に応じて教育委員会も対応する。

保護者負担については、低廉な会費設定や財政支援を予定しており、経済的な事情で参加が困難な生徒には、公費による参加費支援を行う。

学校と認定地域クラブとの間で情報共有等を綿密に行い、地域全体で生徒の成長を保障していきたい。

議 観光客数だけでなく観光消費額を高める視点から、経済波及効果、パーク＆ライド、夜間交通、平日誘客、市民利用との両立を含めた今後の観光戦略について伺う。

理 観光地として選ばれるまちを目指す上で、観光客の満足度向上と市民生活の質の向上を両立させることが最も重要。観光客の増加で交通渋滞や駐車場不足など市民生活への影響が生じることもあるが、観光消費の拡大は地域経済の活性化や雇用の創出につながり、市民生活を支える大きな力となる。

今後も観光客向けの宿泊施設等の誘致に加え、市民も気軽に利用できる飲食店やカフェの誘致、2次交通の充実など観光と暮らしの双方に効果のある施策を進めていく。

- 福井県立大学恐竜学部生との交流について
- 防災行政無線の運用について

その他の質問

- ・ 戸籍の広域交付制度と観光PRについて
- ・ えちぜん鉄道の利用について



市政会 帰山寿憲 議員

議 勝山市民との交流推進も含めて、恐竜学部大学祭に支援をするべきでないか。

理 本年4月に福井県立大学の恐竜学部棟である勝山キャンパスが開設し、2回生34名が日々学業に励んでいる。

恐竜学部では11月に初の学部祭である「第1回恐竜祭」の開催を計画している。学部祭は、新キャンパスのお披露目とともに、地域との連携を深めることが目的。日本で唯一の恐竜学部ならではの特色として、教授陣による体験授業や学部生達によるキャンパスツアーなど、勝山市民に足を運んでいただけるよう準備が進められている。

市としても最大50万円の助成を受けられる「わくわくクラウドファンディング応援事業補助金」の活用を学部生に提案している。その他、市職員の「県立大学恐竜学部生くらしサポートチーム」による人的協力や広報紙・公式SNS等によるPRなど、学部生達の活動をサポートしていく。



福井県立大学恐竜学部棟

議 防災行政無線は、隣接地区の放送が重なり聞き取りにくいことがある。時差放送の導入により解消できるのではないか。

理 本市の防災行政無線の時差放送は、最大6回の分割が可能である。この機能の運用にあたり、どの屋外拡声子局を遅らせるか等の検証が必要だが、活用に向けて取り組んでいく。

また、昨年度から防災行政無線の更新を実施しており、屋外拡声子局が更新されれば、聞き取りやすさが改善される予定である。